

保険業界から経団連会長選出

昨年(2024年)

末、経団連が次期会長に日本生命会長(筒井義信氏)を登用すると発表した。経団連会長に金融機関から選ばれるのは初めてである。

今回は、経団連が次期会長に日本生命会長(筒井義信氏)を登用すると発表した。経団連会長に金融機関から選ばれるのは初めてである。

エージェントバンク(FDSグループ)主任研究員

吉富明彦

関戸恵子

1. 経団連

(1) 経団連とは
経団連は一般社団法人「日本経済団体連合会」

の略称で、日本の代表的な企業1542社、製造業やサービス業等の主要な業種別全国団体106団体、地方別経済団体47団体等が構成されている(24年4月1日現在、経団連のホームページより)。

定款第3条によれば、「企業と企業を支える個人や地域の活力を引き出し、我が国経済の自立的な発展と国民生活の向上に寄与すること」を目的とする総合経済団体である。

(2) 経団連の歴史

始まりはその名譽會員に「渋沢栄一」の名も見られる。1922年(大正11年)8月1日創設の「日本経済聯盟会(経済聯盟)」までさかのぼる。戦後の1946年(昭和21年)8月16日に経済聯盟会、日産協(日本産業協議会)、日本商工経済協会、商工組合中央会、全国金融団体協議会、日本貿易団体協議会等が中心になって、「経済団体連合会」が設立される(経団連)。

より一層のコンプラ・ガバナンス強化を

友友会(同友会)とを

が公益性は必要ない。一方公益社団法人は、一般社団法人のうち公益性を目的とする法人のみ「公益認定委員会(内閣府)」の認定を経てなることができる。公益目的の事業とは、「文化・芸術の振興を目的とする事業」や「公衆衛生の向上を目的とする事業」「地域の健全な発展を目的とする事業」等であるが、公益認定を得るのは簡単ではない。

2. 経団連会長

(1) 歴代の経団連会長

歴代の経団連会長は次の通りである(敬称略)。

第1代 石川一郎(日産化学工業、就任年1948年)

より一層のコンプラ・ガバナンス強化を

の進展や金融化の流れ等も理由として考えられる。

経団連会長は男性かつ60歳以上に限られてきたが、経済構造の変化により一層の多様な人事が求められるかもしれない。

より一層のコンプラ・ガバナンス強化を

1. 経団連の事業に賛同し、「企業行動憲章」の精神を尊重・実践すること

2. 経団連の加入資格(企業員)は次のように定められている。

3. 純資産額(単体が1億円以上であること)

4. 3期以上連続して当期純損失を計上していないこと

5. 財務諸表に関する公認会計士等の監査報告書が適正意見であること

6. リスク管理体制・内部統制システムが導入・整備されていること

7. 過去3年間に於いて重大な不祥事の発生がないこと

傷害保険の解説 2025

2024年標準約款改定や保険給付要件にも言及した
普通傷害保険および家族傷害保険の
普通保険約款に関する
保険実務家向けの最新逐条解説書
ISBN978-4-89293-483-4
●B5判・246頁 (2024年12月刊)
●定価 3,520円(税込) / 送料 660円(税込) ▲詳細はこちら

お申込みはFAXまたはWEBで
FAX 03-5816-2863
https://www.homai.co.jp/

保険毎日新聞社
東京都台東区台東4-14-8
シモンパークビル2F
TEL 03-5816-2861